

2017年9月29日
昭和電線ホールディングス株式会社
(コード番号 5805)

昭和電線グループCSR報告書2017 発刊

昭和電線ホールディングス株式会社(取締役社長 中島文明)は、2016年度の昭和電線グループのCSR活動報告および今後の取り組みを「CSR報告書2017」として取りまとめました。

2016年度の報告内容は、中期経営計画の施策である成長分野への取り組み強化の活動紹介をはじめ、コーポレート・ガバナンスの状況、仕事と介護の両立支援などの従業員支援の状況、環境保全や地域コミュニケーションに関する取り組みなど、より良い未来の実現に向けた活動を紹介しています。

また、初めての試みとして「ダイバーシティー・インタビュー」にて海外現地法人の従業員の声を取り上げました。

当社ホームページに詳細版を掲載しておりますので、ご覧ください。



WEB トップページ www.swcc.co.jp/environment/csr/2017/index.html

【主なトピックス】

1. 組織統治

- ・独占禁止法、下請法および建設業法遵守のための定期講習会の実施およびコンプライアンス講習を営業部門・管理部門向けにそれぞれ継続実施。

2. 人権・労働慣行

- ・災害の撲滅に向け、管理監督者による安全配慮(5S励行、安全継承の設定、1-2-3運動、安全教育の推進)、安全の先取り(リスクアセスメント実践、危険予知と指差呼称の励行、ヒヤリハット提案の推進、異常措置対応の徹底、安全体感教育の推進)を実施。

3. コミュニティ

- ・工場見学、郊外清掃、キッズISOの出前授業、地元主催の展示会&スポーツ大会への参加等による地域社会との交流。

以上

この件に関するお問合せは、下記宛にお願いします。

経営企画部 法務・IR広報グループ 03-5404-6951